

# 5月園だより

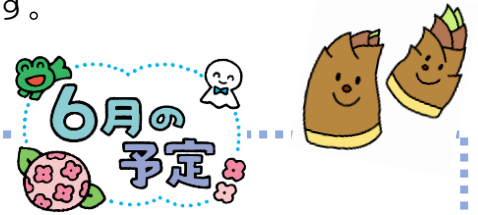
こども未来局  
保育・子育て推進部

令和8年5月1日  
蟹ヶ谷保育園

若葉が青々と元気いっぱい伸び、園庭を走り回る賑やかな子どもたちの声が聞こえてきます。新年度が始まって、早一か月。子どもたちは少しずつ新しい環境に慣れてきているように感じます。子どもたちがおひさまの下でのびのびと遊べる5月です。草花や土、虫などの春の自然にたっぷり触れ、からだをたくさん動かして遊んでいきたいと思っています。



- 7日(木) ~ 5歳児保育参加・個人面談
- 9日(土) 保育内容説明会・乳児懇談会  
(0~2歳児クラス保護者参加)
- 13日(水) 5歳児遠足
- 19日(火) 4歳児遠足
- 20日(水) 園医健診(0, 1, 2歳児)



- 1日(月) ~ 4歳児保育参加・個人面談
- 3日(水) 歯科健診
- 10日(水) 園医健診(3, 4, 5歳児)
- 12日(金) 夏まつり前日練り歩き
- 13日(土) 夏まつり(雨天中止)
- 17日(水) 水遊び開き

## 園長コラム 園目標『生きる力にあふれる子ども』

蟹ヶ谷保育園では、毎年、近隣にある神庭(かにわ)緑地の「里山を楽しむ会」の方々と、この時期交流をさせていただき「竹林の間引き」と称し、タケノコ堀のお手伝いをさせていただいています。大きなタケノコを年長さんが持ち帰ってくる姿を見て、来年は「僕たち！私たちが！」と憧れの気持ちをもっており、進級した今年のはら組の子ども達も、先日ワクワクしながらタケノコ堀に出かけました。

竹林自体もなかなか見る事の出来ない経験で、ニョキニョキと伸び、皮が剥げかけている竹や土から少しだけ顔を出しているタケノコなど、その情景を見るだけで、子ども達は大喜び。一人一人シャベルをもって、グループごとにタケノコ堀に挑戦しました。土は固く、根深く埋まっているタケノコ達、子ども達だけでは簡単に抜けません。すると「里山を楽しむ会」の方が大きなスコップをもって、手伝ってくれます。子ども達は他力本願…「がんば~れ！がんば~れ！」と応援してくれます。でも、最後は、子ども達が抜いた！という経験を持たせてあげられるようにという「里山を楽しむ会」の方々の配慮もあり、次々と立派なタケノコを収穫することができていました。そして、保育という日常の中で、地域の皆さんの温かさや優しさに触れ、この街に住むことが楽しいな~嬉しいな~と思える経験ができたことが何よりも大きな収穫だったのではないかと感じました。



今年も、この地域に住むことの喜びや楽しさを、年齢発達に合わせて伝えていけたらと思います。この地域で育ち、親子の皆様も是非遊びに来ていただき、子ども達とたくさん触れ合っていたらと思います。いつでもお待ちしております♪

追伸…収穫してきた一番大きなタケノコは、園庭砂場の深く深くに植えられ、その後、他のクラスの子も達もタケノコ堀を楽しんだとか♪

イラスト出典：メイト